

サプライヤー評価 実務革新セミナー

～強いサプライヤー群の形成を通して事業に貢献する～

開催日時 **2026年 9月16日(水)** **2026年12月16日(水)** **2027年 2月24日(水)** **東京会場** **大阪会場** **オンライン選択可** **オンライン** 各回とも 10:00～17:00

対象

- 調達・購買部門、外注管理部門、生産管理部門のマネジャーおよびスタッフ
- 経営戦略や事業戦略立案に関わられている方々
- 業務委託先の管理に関わられている方々

講師 **八島 俊彦 氏** SSMリサーチ 代表 **参加料(税込)** 法人会員：59,400円/1名 会員外：71,500円/1名 ※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

企業にとって、原材料や部材を供給するサプライヤー、あるいは、委託業務に対してサービスを提供するサプライヤーは、事業遂行上で欠くことのできない存在です。そのサプライヤーは、発注側の要求事項に対し、それを満たす成果を創出することが期待されます。発注側は、サプライヤーが期待される成果を創出しているかを適切なタイミングで評価し、その結果に応じて然るべき対応を取ることが必要です。こうした対応の積み重ねを通して、強いサプライヤー群が形成されていきます。

本セミナーでは、サプライヤーの評価について、その意味合い、評価の方法、評価結果の活用などについて、いろいろな角度から検討し、事業貢献につなげていくためのサプライヤー評価の方法と活用のスキルを体得していきます。

サプライヤーとの関係があり、サプライヤーを通して成果の創出を期待されている方々にお勧めのセミナーです。

参加者の声

- 今まで実務で行ってきたことを体系立って確認できた。バイヤー企業に求められる事項に変化があればそれに応じた調達を心がける必要があると感じました。
- 実務を行ってきた観点から経験談を交えてお話をいただいたので非常にイメージが湧きやすかった。評価した後の活用方法など勉強になりました。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

- 1 事業遂行におけるサプライヤー活用の意味合い**
 - ・サプライヤー活用の意味合い
 - ・サプライヤー評価の活用局面とその目的
- 2 サプライヤー(リレーションシップ)マネジメント**
 - ・サプライヤー評価の意味合い
 - ・サプライヤー評価システムの考え方と使いどころ
- 3 サプライヤーの評価～企業全体の視点**
 - ・財務分析に基づく評価
 - ・非財務分析に基づく評価
- 4 サプライヤーの評価～調達対象品の視点**
 - ・サプライヤー評価のプロセス
 - ・サプライヤー評価ツールの考え方
 - ・サプライヤー評価ツールの活用
- 5 新規サプライヤー選定の評価**
- 6 特定事象におけるサプライヤー評価と活用**
 - ①経営リスク顕在化時における評価と活用
 - ②グローバル調達における評価と活用
 - ③業務委託に関する評価と活用
- 7 サプライチェーン上流での評価**
 - ①サステナビリティ対応に関する評価と活用
 - ②調達リスクに関する評価と活用
- 8 まとめ**

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

